

平成28年8月19日



各 位

会社名 株式会社テクノメディカ
代表者名 代表取締役社長 實吉 政知
(コード: 6678、東証第1部)
問合せ先 経営管理部長 萩原 一志
(TEL. 045-948-1961)

(訂正) 「平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、平成25年11月8日に開示いたしました「平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(平成28年8月19日)付「平成28年3月期決算短信及び過年度に係る決算短信等(訂正版)の公表について」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年11月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テクノメディカ
 コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 實吉 繁幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 野田 哲 TEL 045-948-1961
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,782	△3.9	995	4.9	988	4.1	619	3.1
25年3月期第2四半期	3,934	21.4	948	74.5	949	74.2	600	100.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	70.74	-
25年3月期第2四半期	68.59	-

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき300株の割合で分割し、単元株式数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,811	9,604	81.3
25年3月期	12,130	9,250	76.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 9,604百万円 25年3月期 9,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	9,100.00	9,100.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	30.33	30.33

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、1株につき300株の割合で分割し、単元株式数を100株としたため、平成26年3月期の業績予想の期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。

株式分割を考慮しない場合の平成26年3月期の業績予想の期末の1株当たり配当金は、9,100円となります。

詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	15.3	2,000	3.0	2,005	3.1	1,282	3.1	146.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	8,760,000株	25年3月期	8,760,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	－株	25年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	8,760,000株	25年3月期2Q	8,760,000株

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき300株の割合で分割し、単元株式数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、発行済株式数については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

(株式分割後の業績予想及び配当について)

当社は、平成25年5月8日に株式の分割及び単元制度採用について決議し、平成25年10月1日を効力発生日として、1株を300株に分割し、単元株式数を100株とする単元株制度を採用しております。

これに伴い、株式分割考慮前に換算した平成26年3月期の業績予想及び配当予想は以下のとおりであります。

1. 平成26年3月期の業績予想
 - 1株当たり当期純利益（株式分割考慮前）
 - 通期 43,919円38銭
2. 平成26年3月期の配当予想
 - 1株当たり配当（株式分割考慮前）
 - 通期 9,100円00銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、企業業績の改善を背景として昨年末から景気の回復が持続しております。しかしながら、来春の消費税増税や原材料価格の上昇などにより、先行きは不透明なものとなっております。世界経済は、米国・欧州において景気が緩やかな回復傾向にあるものの、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化など、全般的には回復期待の中にも不透明感が漂う状況が続いております。

国内医療業界においては、医療費・社会保障費の自然増加が毎年1兆円を超える規模で進む中、政府の医療費増加抑制政策によって病院の設備投資抑制が続いております。このため、医療現場の効率化や医療事故防止のニーズは底堅いものの、医療機器業界に対する価格低減圧力は今後も続くものと思われまます。

このような経営環境の中で、当社ではヘルスケア部門において新製品開発を進めるとともに、平成23年9月に販売開始した採血管準備装置BC・ROBO-8000RFIDを中心とした販売活動を積極的に展開してまいりました。

当第2四半期累計期間の売上高は3,782,935千円(前年同期比3.9%減少)となりました。当第2四半期累計期間は国内市場において採血管準備装置および消耗品の販売が順調に推移致しました。一方、海外市場では、採血管準備装置等の販売を中心に、低調に推移致しました。また、当第2四半期累計期間の総売上高に対する海外売上高の占める割合は前年同期比3.3ポイント低下し8.2%となりました。

利益面に関しては、売上総利益は2,098,030千円(前年同期比2.0%増加)、販売費及び一般管理費は1,102,461千円(前年同期比0.6%減少)となり、営業利益は995,569千円(前年同期比4.9%増加)、経常利益は988,461千円(前年同期比4.1%増加)、四半期純利益は619,709千円(前年同期比3.1%増加)となりました。

<品目別の販売状況>

・採血管準備装置

当第2四半期累計期間における採血管準備装置の売上高は1,615,149千円(前年同期比6.4%減少)となりました。

当第2四半期累計期間は国内市場で、採血管準備装置の周辺機器も含めた販売について好調であったことなどから納入案件ごとの単価が増加し、同市場における売上高は1,429,881千円(前年同期比0.3%増加)となりました。

一方、海外市場においては、海外経済の成長鈍化などの影響を受け、売上高は185,268千円(前年同期比38.4%減少)となりました。

・検体検査装置

当第2四半期累計期間における検体検査装置の売上高は249,697千円(前年同期比28.6%減少)となりました。

国内市場の売上高は224,979千円(前年同期比28.6%減少)となりました。

海外市場においては、海外経済の成長鈍化などの影響を受け、売上高は24,717千円(前年同期比28.5%減少)となりました。

・消耗品等

当第2四半期累計期間における消耗品等の売上高は1,848,242千円(前年同期比4.9%増加)となりました。

国内市場における消耗品等の売上高は、装置販売が順調に拡大したことおよび装置の累計販売台数の増加に伴い1,746,411千円(前年同期比6.2%増加)となりました。

海外市場における消耗品等の売上高は、海外経済の成長鈍化などの影響を受け、101,830千円(前年同期比13.5%減少)となりました。

・その他

当第2四半期累計期間において、その他の売上高は69,845千円(前年同期比27.5%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産の残高は11,811,710千円となり、前事業年度末比319,094千円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金の回収が順調に進んだこと等により、売上債権が641,668千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債の残高は2,207,710千円となり、前事業年度末比673,084千円減少しました。これは主に、平成25年3月期第4四半期において販売をおこなった製品仕入に係る支払が滞りなく進んだことにより仕入債務が567,707千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は9,604,000千円となり、前事業年度末比353,989千円増加しました。これは配当金の支払いが265,720千円、四半期純利益が619,709千円であったことによるものであります。なお、自己資本比率は81.3%となり、前事業年度末比5.1ポイント上昇しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は3,866,245千円となり、前年同四半期累計期間比764,809千円の増加(前事業年度末比53,373千円の減少)となりました。

営業活動の結果、298,807千円の資金増加(前年同四半期累計期間は321,895千円の資金増加)となりました。これは主に、税引前四半期純利益が988,461千円、売上債権の減少額が641,668千円になった一方、仕入債務の減少額567,707千円、法人税等の支払額460,561千円があったことによるものであります。

投資活動の結果、86,797千円の資金減少(前年同四半期累計期間は50,693千円の資金減少)となりました。これは主に定期預金の預け入れによる支出70,290千円があったことによるものであります。

財務活動の結果、265,382千円の資金減少(前年同四半期累計期間は356,652千円の資金減少)となりました。これは、配当金の支払額265,382千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日付の平成26年3月期決算短信で発表した平成26年3月期第2四半期累計期間並びに通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,516,090	5,533,007
受取手形	867,512	757,704
売掛金	<u>2,031,425</u>	<u>1,499,565</u>
商品及び製品	<u>1,657,514</u>	<u>2,061,577</u>
仕掛品	282,260	217,654
原材料及び貯蔵品	86,400	93,001
前払費用	8,848	15,885
繰延税金資産	<u>101,730</u>	<u>85,183</u>
その他	<u>10,330</u>	1,623
貸倒引当金	<u>△8,353</u>	<u>△4,971</u>
流動資産合計	<u>10,553,758</u>	<u>10,260,232</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	892,800	892,800
減価償却累計額	<u>△403,788</u>	<u>△419,967</u>
建物(純額)	<u>489,011</u>	<u>472,832</u>
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	<u>△3,048</u>	<u>△3,115</u>
構築物(純額)	<u>1,029</u>	<u>962</u>
機械及び装置	8,500	8,500
減価償却累計額	<u>△1,418</u>	<u>△2,430</u>
機械及び装置(純額)	<u>7,081</u>	<u>6,069</u>
工具、器具及び備品	89,679	90,144
減価償却累計額	<u>△54,605</u>	<u>△60,205</u>
工具、器具及び備品(純額)	<u>35,074</u>	<u>29,938</u>
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	<u>1,319,523</u>	<u>1,297,129</u>
無形固定資産		
特許権	2,700	2,359
商標権	1,066	966
ソフトウェア	81	—
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	<u>5,026</u>	<u>4,504</u>
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
繰延税金資産	<u>114,660</u>	<u>102,700</u>
保険積立金	90,779	93,534
差入保証金	39,546	46,099
投資その他の資産合計	<u>252,497</u>	<u>249,845</u>
固定資産合計	<u>1,577,047</u>	<u>1,551,478</u>
資産合計	<u>12,130,805</u>	<u>11,811,710</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,656,057	1,088,350
未払金	99,943	144,099
未払法人税等	503,020	381,301
未払消費税等	38,042	10,012
未払費用	55,389	54,232
前受金	50,376	101,842
預り金	7,533	8,653
賞与引当金	129,000	114,000
役員賞与引当金	24,000	—
その他	1,434	6,633
流動負債合計	2,564,796	1,909,126
固定負債		
役員退職慰労引当金	226,905	210,385
製品保証引当金	79,932	71,432
受入保証金	9,161	9,206
その他	—	7,560
固定負債合計	315,999	298,584
負債合計	2,880,795	2,207,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	7,212,284	7,566,274
株主資本合計	9,250,010	9,604,000
純資産合計	9,250,010	9,604,000
負債純資産合計	12,130,805	11,811,710

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	3,934,750	3,782,935
売上原価	1,877,364	1,684,904
売上総利益	2,057,386	2,098,030
販売費及び一般管理費	1,108,593	1,102,461
営業利益	948,793	995,569
営業外収益		
受取利息	712	728
その他	541	527
営業外収益合計	1,254	1,255
営業外費用		
支払利息	313	544
消費税差額	—	7,819
営業外費用合計	313	8,363
経常利益	949,734	988,461
税引前四半期純利益	949,734	988,461
法人税、住民税及び事業税	329,320	340,244
法人税等調整額	19,601	28,506
法人税等合計	348,921	368,751
四半期純利益	600,812	619,709

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	949,734	988,461
減価償却費	18,086	23,381
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,000	△16,520
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△22,137	△3,381
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,684	△15,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△24,000
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△14,930	△8,500
受取利息及び受取配当金	△712	△728
支払利息	313	544
売上債権の増減額 (△は増加)	305,092	641,668
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	38,155	—
たな卸資産の増減額 (△は増加)	261,446	△346,058
仕入債務の増減額 (△は減少)	△736,041	△567,707
その他の資産の増減額 (△は増加)	△15,161	△156
その他の負債の増減額 (△は減少)	53,629	87,182
小計	846,157	759,184
利息及び配当金の受取額	712	728
利息の支払額	△313	△544
法人税等の支払額	△524,660	△460,561
営業活動によるキャッシュ・フロー	321,895	298,807
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△60,340	△70,290
有形固定資産の取得による支出	△7,274	△9,025
差入保証金の差入による支出	△14,451	△8,437
差入保証金の回収による収入	6,136	956
保険積立金の解約による収入	25,236	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,693	△86,797
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△100,000	—
配当金の支払額	△256,652	△265,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△356,652	△265,382
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△85,449	△53,373
現金及び現金同等物の期首残高	3,186,885	3,919,618
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,101,435	3,866,245

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、医療機器、及びこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成しておりません。

(訂正前)



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年11月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テクノメディカ
 コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 實吉 繁幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 野田 哲 TEL 045-948-1961
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,965	7.8	947	19.9	948	19.9	602	19.0
25年3月期第2四半期	3,678	8.0	789	22.5	790	22.2	506	26.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	68.83	-
25年3月期第2四半期	57.86	-

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき300株の割合で分割し、単元株式数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	12,416	10,395	83.7
25年3月期	12,809	10,058	78.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 10,395百万円 25年3月期 10,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	9,100.00	9,100.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	30.33	30.33

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、1株につき300株の割合で分割し、単元株式数を100株としたため、平成26年3月期の業績予想の期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。

株式分割を考慮しない場合の平成26年3月期の業績予想の期末の1株当たり配当金は、9,100円となります。

詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	15.3	2,000	3.0	2,005	3.1	1,282	3.1	146.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	8,760,000株	25年3月期	8,760,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	一株	25年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	8,760,000株	25年3月期2Q	8,760,000株

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき300株の割合で分割し、単元株式数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、発行済株式数については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

(株式分割後の業績予想及び配当について)

当社は、平成25年5月8日に株式の分割及び単元制度採用について決議し、平成25年10月1日を効力発生日として、1株を300株に分割し、単元株式数を100株とする単元株制度を採用しております。

これに伴い、株式分割考慮前に換算した平成26年3月期の業績予想及び配当予想は以下のとおりであります。

1. 平成26年3月期の業績予想
 - 1株当たり当期純利益（株式分割考慮前）
 - 通期 43,919円38銭
2. 平成26年3月期の配当予想
 - 1株当たり配当（株式分割考慮前）
 - 通期 9,100円00銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、企業業績の改善を背景として昨年末から景気の回復が持続しております。しかしながら、来春の消費税増税や原材料価格の上昇などにより、先行きは不透明なものとなっております。世界経済は、米国・欧州において景気が緩やかな回復傾向にあるものの、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化など、全般的には回復期待の中にも不透明感が漂う状況が続いております。

国内医療業界においては、医療費・社会保障費の自然増加が毎年1兆円を超える規模で進む中、政府の医療費増加抑制政策によって病院の設備投資抑制が続いております。このため、医療現場の効率化や医療事故防止のニーズは底堅いものの、医療機器業界に対する価格低減圧力は今後も続くものと思われまます。

このような経営環境の中で、当社ではヘルスケア部門において新製品開発を進めるとともに、平成23年9月に販売開始した採血管準備装置BC・ROBO-8000RFIDを中心とした販売活動を積極的に展開してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,965,670千円(前年同期比7.8%増加)となりました。当第2四半期累計期間は国内市場において採血管準備装置および消耗品の販売が順調に推移致しました。一方、海外市場では、検体検査装置等の販売を中心に、低調に推移致しました。また、当第2四半期累計期間の総売上高に対する海外売上高の占める割合は前年同期比1.3ポイント低下し6.4%となりました。

利益面に関しては、採血管準備装置の売上が増加したことにより売上総利益は2,111,116千円(前年同期比10.5%増加)、販売費及び一般管理費は1,163,600千円(前年同期比3.9%増加)となり、営業利益は947,515千円(前年同期比19.9%増加)、経常利益は948,226千円(前年同期比19.9%増加)、四半期純利益は602,977千円(前年同期比19.0%増加)となりました。

<品目別の販売状況>

・採血管準備装置

当第2四半期累計期間における採血管準備装置の売上高は1,711,394千円(前年同期比16.1%増加)となりました。

当第2四半期累計期間は国内市場で、採血管準備装置の周辺機器も含めた販売について好調であったことなどから納入案件ごとの単価が増加し、同市場における売上高は1,585,987千円(前年同期比18.1%増加)となりました。

一方、海外市場においては、海外経済の成長鈍化などの影響を受け、売上高は125,406千円(前年同期比4.3%減少)となりました。

・検体検査装置

当第2四半期累計期間における検体検査装置の売上高は329,717千円(前年同期比5.8%減少)となりました。

国内市場の売上高は308,999千円(前年同期比2.0%減少)となりました。

海外市場においては、海外経済の成長鈍化などの影響を受け、売上高は20,717千円(前年同期比40.1%減少)となりました。

・消耗品等

当第2四半期累計期間における消耗品等の売上高は1,855,632千円(前年同期比5.3%増加)となりました。

国内市場における消耗品等の売上高は、装置販売が順調に拡大したことおよび装置の累計販売台数の増加に伴い1,746,411千円(前年同期比6.2%増加)となりました。

海外市場における消耗品等の売上高は、海外経済の成長鈍化などの影響を受け、109,220千円(前年同期比7.2%減少)となりました。

・その他

当第2四半期累計期間において、その他の売上高は68,925千円(前年同期比25.6%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産の残高は12,416,992千円となり、前事業年度末比392,278千円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金の回収が順調に進んだこと等により、売上債権が655,266千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債の残高は2,021,456千円となり、前事業年度末比729,536千円減少しました。これは主に、平成25年3月期第4四半期において販売をおこなった製品仕入に係る支払が滞りなく進んだことにより仕入債務が557,905千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は10,395,536千円となり、前事業年度末比337,257千円増加しました。これは配当金の支払いが265,720千円、四半期純利益が602,977千円であったことによるものであります。なお、自己資本比率は83.7%となり、前事業年度末比5.2ポイント上昇しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は3,866,245千円となり、前年同四半期累計期間比764,809千円の増加(前事業年度末比53,373千円の減少)となりました。

営業活動の結果、298,807千円の資金増加(前年同四半期累計期間は321,895千円の資金増加)となりました。これは主に、税引前当期純利益が948,226千円、売上債権の減少額が655,266千円になった一方、仕入債務の減少額557,905千円、法人税等の支払額460,561千円があったことによるものであります。

投資活動の結果、86,797千円の資金減少(前年同四半期累計期間は50,693千円の資金減少)となりました。これは主に定期預金の預け入れによる支出70,290千円があったことによるものであります。

財務活動の結果、265,382千円の資金減少(前年同四半期累計期間は356,652千円の資金減少)となりました。これは、配当金の支払額265,382千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日付の平成26年3月期決算短信で発表した平成26年3月期第2四半期累計期間並びに通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,516,090	5,533,007
受取手形	867,512	757,704
売掛金	<u>3,138,027</u>	<u>2,592,569</u>
商品及び製品	<u>1,254,677</u>	<u>1,561,904</u>
仕掛品	282,260	217,654
原材料及び貯蔵品	86,400	93,001
前払費用	8,848	15,885
繰延税金資産	<u>115,917</u>	<u>123,756</u>
その他	<u>1,618</u>	1,623
貸倒引当金	<u>△63,457</u>	<u>△55,038</u>
流動資産合計	<u>11,207,895</u>	<u>10,842,068</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	892,800	892,800
減価償却累計額	<u>△403,788</u>	<u>△419,967</u>
建物(純額)	<u>489,011</u>	<u>472,832</u>
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	<u>△3,048</u>	<u>△3,115</u>
構築物(純額)	<u>1,029</u>	<u>962</u>
機械及び装置	8,500	8,500
減価償却累計額	<u>△1,418</u>	<u>△2,430</u>
機械及び装置(純額)	<u>7,081</u>	<u>6,069</u>
工具、器具及び備品	89,679	90,144
減価償却累計額	<u>△54,605</u>	<u>△60,205</u>
工具、器具及び備品(純額)	<u>35,074</u>	<u>29,938</u>
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	<u>1,319,523</u>	<u>1,297,129</u>
無形固定資産		
特許権	2,700	2,359
商標権	1,066	966
ソフトウェア	81	—
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	<u>5,026</u>	<u>4,504</u>
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
繰延税金資産	<u>138,988</u>	<u>126,145</u>
保険積立金	90,779	93,534
差入保証金	39,546	46,099
長期未収入金	<u>68,400</u>	<u>65,896</u>
貸倒引当金	<u>△68,400</u>	<u>△65,896</u>
投資その他の資産合計	<u>276,825</u>	<u>273,290</u>
固定資産合計	<u>1,601,375</u>	<u>1,574,923</u>
資産合計	<u>12,809,271</u>	<u>12,416,992</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,609,717	1,051,811
未払金	99,943	141,939
未払法人税等	470,948	349,229
未払消費税等	37,027	8,998
未払費用	55,389	54,232
預り金	7,533	8,653
賞与引当金	129,000	114,000
役員賞与引当金	24,000	—
その他	1,434	1,567
流動負債合計	2,434,992	1,730,431
固定負債		
役員退職慰労引当金	226,905	210,385
製品保証引当金	79,932	71,432
受入保証金	9,161	9,206
固定負債合計	315,999	291,024
負債合計	2,750,992	2,021,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	8,020,552	8,357,810
株主資本合計	10,058,278	10,395,536
純資産合計	10,058,278	10,395,536
負債純資産合計	12,809,271	12,416,992

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,678,549	3,965,670
売上原価	1,768,689	1,854,554
売上総利益	1,909,860	2,111,116
販売費及び一般管理費	1,119,921	1,163,600
営業利益	789,938	947,515
営業外収益		
受取利息	712	728
その他	541	527
営業外収益合計	1,254	1,255
営業外費用		
支払利息	313	544
営業外費用合計	313	544
経常利益	790,879	948,226
税引前四半期純利益	790,879	948,226
法人税、住民税及び事業税	261,884	340,244
法人税等調整額	22,119	5,004
法人税等合計	284,004	345,249
四半期純利益	506,874	602,977

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	790,879	948,226
減価償却費	18,086	23,381
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,000	△16,520
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24,427	△10,922
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,684	△15,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△24,000
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△14,930	△8,500
受取利息及び受取配当金	△712	△728
支払利息	313	544
売上債権の増減額 (△は増加)	698,077	655,266
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	38,155	—
たな卸資産の増減額 (△は増加)	110,379	△249,222
仕入債務の増減額 (△は減少)	△781,548	△557,905
その他の資産の増減額 (△は増加)	△9,103	△6,364
その他の負債の増減額 (△は減少)	12,304	20,929
小計	846,157	759,184
利息及び配当金の受取額	712	728
利息の支払額	△313	△544
法人税等の支払額	△524,660	△460,561
営業活動によるキャッシュ・フロー	321,895	298,807
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△60,340	△70,290
有形固定資産の取得による支出	△7,274	△9,025
差入保証金の差入による支出	△14,451	△8,437
差入保証金の回収による収入	6,136	956
保険積立金の解約による収入	25,236	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,693	△86,797
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△100,000	—
配当金の支払額	△256,652	△265,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△356,652	△265,382
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△85,449	△53,373
現金及び現金同等物の期首残高	3,186,885	3,919,618
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,101,435	3,866,245

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、医療機器、及びこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成しておりません。